

地域でその人らしく暮らすことを継続して支援する

地域サテライトケア全国サミット part 2

ユニットケアから地域サテライトケアへ >>

～地域へ向けて国が動き始めた～

年齢や障害に関係なく、「地域でその人らしく」暮らすことができるよう、全国の宅老所やグループホーム、福祉施設ではさまざまな取り組みがはじまっています。

宅老所・グループホームでは、地域で暮らし続けるために。

そして、施設では、その人らしさや地域を取り戻すために。

地域での生活を支えてきた宅老所・グループホームの取り組みは、施設におけるユニットケア誕生に大きな影響を与えました。そして、「逆デイサービス」、「地域分散ケア」、「多機能ケア」、「共生ケア」へ。今、施設は地域への一歩を踏み出そうとしています。

サミット3つのPOINT

- Point 1 ユニットケアの発展系としての「逆デイサービス（施設から地域への通所ケア）」や「地域分散型施設（地域分散ケア）」、宅老所の発展系としての「小規模多機能ホーム（多機能ケア）」や「地域共生ホーム（地域共生ケア）」など、地域サテライトケアの多様な実践を紹介します。
- Point 2 地域サテライトケアの取り組みは、ハードの整備やサービスの提供と共に、地域住民の参加と協働が不可欠です。その意味と背景を明らかにしていきます。
- Point 3 宅老所・グループホームからユニットケアへ。ユニットケアから地域サテライトケアへ。地域での取り組みが施設を変革し、施設の取り組みが地域に向かう一連の展開を整理し、今後の方向を、実践者と研究者、政策担当者が模索します。

【期 日】 2003年6月28日（土）～29日（日）

【会 場】 長野県農協ビル アクティホール
長野市大字南長野北石堂町1177番地3 026-236-3600

【主 催】 地域サテライトケア推進プロジェクト

【共 催】 特養・老健・医療施設ユニットケア研究会
宅老所・グループホーム全国ネットワーク
自分らしいその人らしい地域生活支援ネットワーク
安心した生活とすみやすい地域を作る実践会議

【参加定員】 400人

【参加費】 13,000円（当日資料を含む）
宅老所・グループホーム全国ネットワーク会員／特養・老健・医療施設ユニットケア研究会会員は1会員につき、1名のみ12,000円。

〔初日〕 6月28日(土)

時 間	内 容
12:30～12:50	開会
12:50～14:50	<p>基調ディスカッション／サテライトケアとは何か</p> <p>パネラー</p> <p>【ユニットケアの次】</p> <p>いずみの園（大分県） 介護課長 岩 崎 深 雪</p> <div> <p>1978 年開設の特養。ユニットケアに取り組む一方で、日中地域の民家に出かけてデイサービスを行う逆デイサービス(いずみの園では「アウトデイ」と呼んでいる)にも取り組むなど、常により良いケアを模索し実行している。</p> </div> <p>【グループホーム＋デイサービス】</p> <p>しおんの家（富山県） 施設長 山 田 和 子</p> <div> <p>1999 年の開設当初から、地域生活の連続性に注目し、通い(通所)から住む(グループホーム)ことまで介護によって生活を断ち切ることのない支援を目指し、介護保険と自主事業とを織り交ぜながら在宅支援を実践している。</p> </div> <p>【多機能ケア】</p> <p>せんだんの杜（宮城県） 在宅支援課・相談支援課課長 設 楽 順 一</p> <div> <p>1996 年に始まった逆デイサービス。それをきっかけに、2002 年からは中山小学校区でデイ＋ヘルプ＋居住の機能を持つ小規模多機能ホーム、総合相談所等を展開中。現在では、さらに2つの小学校区でも地域共生型ホームの取り組みが始まっている。</p> </div> <p>【地域づくり】</p> <p>アザレアンさなだ（長野県） 通所介護リーダー 大 野 幸 子</p> <div> <p>町のほとんどが森林という、典型的な中山間地域で 1995 年からサテライトデイサービスや宅老所、グループホーム事業を展開。農山村地域でも、住みなれた地域での暮らしを継続するため、小学校区をベースとした小規模ケアに積極的に取り組んでいる。</p> </div> <p>コーディネーター</p> <p>季刊・痴呆性老人研究 編集長 泉 田 照 雄</p>
12:50～15:10	休憩
15:10～17:00	<p>サテライトケアのケアを考える</p> <p>パネラー</p> <p>地域サテライトケア推進サミット 代 表 宮 島 渡</p> <p>宅老所グループホーム全国ネットワーク 代表世話人 川 原 秀 夫</p> <p>特養・老健・医療施設ユニットケア研究会 代 表 武 田 和 典</p> <p>安心した生活とすみやすい地域を作る実践会議 山 田 尋 志</p> <p>厚生労働省老健局 局 長 中 村 秀 一</p> <p>コーディネーター</p> <p>大阪府立大学社会福祉学部 専任講師 藤 井 博 志</p>

09:20～10:25	<p>実践報告リレー</p> <p>「施設に暮らす高齢者の、地域への通所ケア（逆デイサービス）」</p> <p>報告者 和風園（宮城県） 施設長 浅倉 恵子</p> <div>2002年5月から逆デイサービスに取り組み始めた特養。今年は痴呆の方を対象として新たに1軒開設。1ヶ月に訪れてくる地域の方が、利用者とほぼ同じ数という、地域に根ざした活動を展開している。</div> <p>「高齢者も障害者も子どもも、ともに暮らす地域共生ケア」</p> <p>報告者 このゆびと一まれ（富山県） 副代表 西村 和美</p> <div>1993年に開設。赤ちゃんからお年寄りまで、障害のある人も、痴呆の人も、寝たきりの人も、一つ屋根の下で生活を共にしている、誰でも必要な時に必要なだけ利用できる共生型デイケアハウス。地域で暮らし続けることを支援して今年で10年目を迎える。</div> <p>「地域で暮らし続けるための多機能ケア」</p> <p>報告者 のぞみホーム（栃木県） 代表 奥山 久美子</p> <div>1993年開設。のぞみホームの近隣に暮らし続けたいと願う人たちの身近な存在であり続けたいと、在宅支援にこだわってきた。24時間365日継続的に利用者を支えてきた結果、制度に当てはまらないようなきめ細かで多様なサービス機能を担う。</div>
10:25～10:45	休憩
10:45～12:10	<p>「地域で暮らすことを支援する新しいケアの形態」</p> <p>報告者 デイホームあいあい（栃木県） 代表 高木 敏江</p> <div>1994年、住宅地に自宅を開放して以来、痴呆のおとしよりと“ゆっくり・のんびり・楽しく”をモットーに、通所介護と自主事業としてのお泊りを工夫しながら実践。地域とのつながりを大切にし、障害者や子どもも巻き込んで展開中。</div> <p>コスモスの家（神奈川県） 代表 渡辺 ひろみ</p> <div>1989年地域の主婦が資金を出し合い、週1回のミニデイサービスとして開設。現在はケアプラン作成・デイサービス・ホームヘルプサービスの介護保険事業のほか、配食サービスとミニデイサービス2ヵ所を運営。昨年度から三田小学校区を対象とした地域福祉計画づくりに取り組む。</div> <p>愛知たいようの杜ヘルパーステーション（愛知県）リーダー 中村 恭子</p> <div>1987年に特養開設。1998年からユニットケアに取り組む一方で、2002年には駅前に高齢者アパートぼちぼち長屋開設。地域づくりにも積極的に関わっている。仕事の枠を超え、町の住民の1人として、地域の方々と向き合っている。</div>

	<div> ハーモニー（福岡県） <div> 理事長 花田光洋 </div> </div> <div> 障害、健常、高齢、若年、といった区別なく住むことのできるフリーホーム「ハモニカ」を運営。生活者という視点でひとりひとりの入居者をとらえ、生活の場で最期を迎えることができるよう、在宅医療と密接に連携しつつ、看取りまで実践している。 </div>
12:10～13:10	昼食
13:10～14:50	<div> サテライトケアの今後を考える 「在宅サービスもハードからソフトの時代」 報告者 せんだんの杜（宮城県） <div> 副杜長 池田昌弘 </div> こぶし園（新潟県） <div> 園長 小山剛 </div> 上小地域療育等支援センターSHAKE（長野県） <div> 次長 唐木昭 </div> 厚生労働省老健局振興課 <div> 課長 香取照幸 </div> 全国社会福祉協議会地域福祉部 <div> 副部長 渋谷篤男 </div> コーディネーター 日本福祉大学社会福祉学部 <div> 教授 平野隆之 </div> </div>
14:50～15:00	閉会

【参加登録のご案内】

参加登録・宿泊・弁当申込書に必要事項をご記入の上、6月20日（金）までに東急観光（FAX：026-228-3346）まで送信ください。受付確認の返信をいたしますので、3日以内に返信のない場合はご連絡ください。

6月10日以降、請求書をお送りします。

「宅老所・グループホーム全国ネットワーク」及び「特養・老健・医療施設ユニットケア研究会交流会」会員の方は参加費が割引となります。備考欄に会員番号を忘れずご記入ください。ご記入がない場合には、割引の適用にはなりませんのでご注意ください。

【宿泊のご案内】

宿泊をご希望の場合は、（１）メトロポリタン長野、（２）三井ガーデンホテル、（３）長野ファーストホテルのいずれか１つをお選びいただき、申込書の宿泊希望日にご記入ください。ツインをご希望の場合は、備考欄に同室希望者名をご記入ください。

内容に関するお問い合わせ

地域サテライトケア推進プロジェクト事務局

〒981-0954 宮城県仙台市青葉区川平 5-3-18-207

全国コミュニティライフサポートセンター（CLC 東日本）内

TEL:022-719-9248

FAX:022-719-9251

E-Mail:clc@clc-japan.com

お申込に関するお問い合わせ

東急観光株式会社 長野支店

TEL:026-226-4315 FAX:026-228-3346